

5月18日、衆院議員会館に全国から国会請願代表一  
四一人が参加。正面は挨拶する林紀子参議院議員。



No.360

編集発行人 中西三洋  
治安維持法犠牲者  
国家賠償要求同盟  
〒113-0034 東京都  
文京区湯島2-4-4  
平和と労働センター・全労連  
会館  
電話 03(5842)6461  
FAX 03(5842)6462  
振替 00110 6 97793  
定価 50円

# 国会請願の成功をバネに 参議院選挙で革新の躍進を

5月18日、国賠法制定の国会請願行動は、全国から昨  
年をこえる一四一名の代表と署名三四万二〇九〇筆を持  
って、終日、衆参両院の各党議員四一七人を訪問するな  
ど、大きな成功をおさめました。また同盟三役は犠牲者  
とともにこの日、河野洋平衆議院議長に面会して同様の  
要請をおこない、24日には倉田寛之参議院議長、野沢太  
三法務大臣とも面会、同様の要請をおこないました。  
国会情勢は、ちょうど衆院段階で年金改悪法案と、自  
衛隊海外派兵・国民の権利抑圧の戦争Ⅱ有事関連法案が  
強行採決され、反対する国民世論の広がりや抗議行動が  
連日強められていました。また22日には小泉総理が北朝  
鮮を再訪問し、「平壤宣言」の再確認、拉致家族五人の  
帰国など、まさに日本とアジアにおける平和と人権を問  
う重大な局面にありました。  
行動に参加した多くの皆さんから「治安維持法犠牲者  
への謝罪・賠償要求について、各党派の多くの議員は真摯  
に聴いてくれた」と共通して感想がのべられています  
が、全国の署名を背景にした私たち同盟の国会要請は、過  
去の戦争犯罪と人権迫害にたいする歴史認識を新たにす  
る契機となっているのです。参議院選挙をむかえ、この  
ことを確信として、革新勢力の前進をかちとりましょう。

## 主 な 記 事

国会誓願行動に参加して	2
九州・沖縄の女性交流集会	2
顕彰碑/村山篤子の碑	4
時の焦点/参議院選挙	5
抵抗の群像/可児義雄さん	5
同盟歌壇/碓田のぼる選	6
書棚/『日本の人権/世界の人権』	7
国連ツアーへのお誘い	7

# 国会請願行動に参加して 各地からの代表が語る

青森県 高杉 さと

〃署名目標を達成して昨年当選した高橋千鶴子議員に届けよう〃の合言葉を果たせ請願を果たすことが出来ました。

九六歳の五味迪子会長が二〇筆、五〇筆、三〇筆と身の回りをコツコツ集めた署名用紙を週一回の事務局会議のたび持参して牽引車の役目をしてくれ、今までは息切れしていた事務局が最後まで全会員に集約状況を伝え、訴えました。それに応えた会員の想いが一〇筆、二〇筆と届けられて二年振り目標超過達成ができました。

第一議員会館会議室は各県からの参加者で補助椅子が出されるほど、みるみる満杯になり同盟の思いが強く現れていました。

青森県は福島県の代表の方と衆議院、参議院九名の議員を訪問しましたが会議中で議員とは直接お話をできませんでした。請願の趣旨を伝え、署名を秘書におわたししました。高橋千鶴子議員は昼食時間をさいて東北代表と会う配慮をしてくれ、望みがかなった行動日でした。

埼玉県 吉村 絢美

毎年黄色い署名用紙を友人、知人、土建の組合や色々な催しの会場でお願ひしてきましたが、今回は直接衆・参両院への請願に参加。九〇歳をこえた犠牲者のお二人の拷問の体験もお聞きし、新しい本のページを開いたような新鮮さと充実感を与えられました。

私は一九四七年生まれ、「団塊」の世代、親から戦争の話をよく聞いたし、学校でも日本が侵略した国で何をしたかなど学習しました。だが、私達の子供の世代ではヒロシマ・ナガサキへの原爆投下さえ知らない青年がふえています。団塊の世代も「もうすぐ六〇歳、疲れたわ」なんて言葉を交わしています。私達は若い。やれやれ、五月十八

日には皆さんの元気をもらって帰りました。

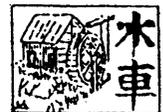
岐阜県 交告 ちづ

五月十八日の国会請願に岐阜県代表として初めて参加しました。



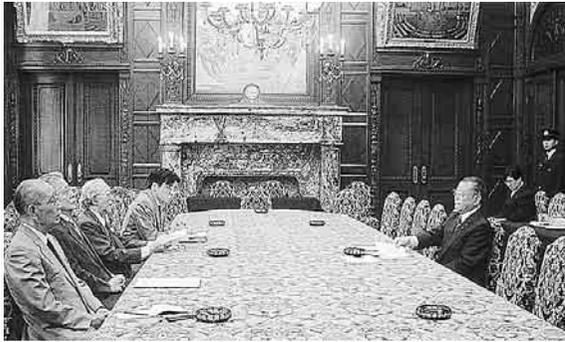
全国から一四一人が参加し、会場は熱気にあふれていました。

治安維持法の犠牲者、田熊眞澄・松崎濱子さんの当時の生々しい体験を聞き、今イラクでおきているアメリカの残忍な虐待事件と重なり、戦争を再び起こしてはならないと、決意を新たにしました。



日本は「自己責任」？ で世界の良識からひんしゆくをかつた。今度は「結果責任」？ 都教委は五月二五日、都立高校の卒業・入学式で「君が代」斉唱時起立しなかつた生徒がいた学級の担任教諭五七人に指導力不足として厳重注意とした。都教委は「結果責任」と断定した。対象となつた教諭は、「生徒の行動を教員の責任にしたのは、生徒が教師の言う取りに動くという前提での話し。生徒が自分で決める権利を認めておらず、人権を無視している」と憤りを隠さない。

戦前のように、「日の丸」「君が代」教育を毎日子供達に刷り込めどもいっただろうか。戦後教科書検定違憲裁判を三二年闘つて、教育の反動化に大きなブレーキをかけた家永さんは、「幼時の白紙のような頭脳に与えられる印象の強さはその人にとつて容易にぬぐい去ることのできない影響を終生にのこす力をもつ場合が多く……」と教育のありかたを戒めている。子供はお国のものではない！ (倉)



倉田寛之参院議長に要請

全国で集められた三四万二千人の署名と請願の紹介議員承諾のお願いに、各県毎に地元の国会議員を訪問、私は西濃から参加された北村修保さんと、衆・参院議員九人の事務所秘書の方とお会いし、お願いしました。岐阜県の議員秘書から受けとり拒否はなく、無事要請行動は終わりました。衆議院の河野議長は「穀田議員とよく相談し、検討したい」と答えたとの報告に会場から大きな拍手がおき、明るいニュースに来年もがんばろうと元気に帰ってきました。

富山県 小森 修

大阪府 井上 敏江

私は、本県選出の九つの議員事務所を訪ね、紹介議員になっていただくよう要請しました。

五月十八日、今年も国会要請が全国から一四一名の参加で行なわれました。

どの事務所も議員不在で、秘書が応対しました。当初から覚悟はしていましたが、自民党の事務所では異口同音に、「党の決まりがあるので」と紹介議員になることには難色を示されましたが、民主党の村井宗明議員と社民党の又市征治議員の事務所だけは、富山から持参した五〇〇筆一束にした署名を受け取り、「期待に添えられるよう、みなさんの要請趣旨を議員に伝えます」と、丁寧に応対してくれました。

大阪からは九名が上京し、三班にわかれて大阪選出衆参議員(四人)に要請しました。私と長野さん、並河さん美女三姉妹組は、話をする役、対応をメモする役、署名を渡す役と任務分担をし、衆議院第二会館の一六名の各部屋をまわりました。丁度本会議で議員には面会出来ませんでした。どこも秘書の対応は良かった。ある女性秘書は私の名刺の住所を見てその人も同じ所だそう思わず話もはずみしました。又ある自民党の秘書からは、この種のもの今年から個人判断になったという事も聞きました。大阪のおばちゃんまる出しで、お世辞も言いながら元気がよくしつかり要請してきました。それにしても階段の上り下りや長いローカ、足腰丈夫でないと言請行動も大変です。若い会員さんを増やそうと話合いました。思いがこめられた署名三万六七一筆しつかり届けてきました。

今回、行動の助けになればと、連絡先を明記した名刺と請願趣旨が書かれた署名用紙のコピー、そして、富山県関係の弾圧犠牲者名簿一覧をセットにして、事務所を回りました。今にして思えば、議員不在のなか、この種の準備は非常に良かったと思っています。次回からは、個々の議員宛の訴え文書なども用意して参加したいと思っています。

昨年、隣の誼みもあつて特にお世話になった中林よし子さんはじめ三〇名近い紹介議員が議席を失ったことに、情勢のさびしさを思いながらの国会請願でしたが、昨年を上回る参加者と署名の結集を新たな力に行動できました。

県関係五議員のうち昨年はじめて賛同を得た山内攻議員(衆・民主)の秘書も、あらためての謝意と要請に快く応対、激励されるなど(今回も大丈夫)との感触を得ました。また自民現職を破つての川上義博議員(衆・改革)の秘書



高橋千鶴子議員に要請する東北の代表

鳥取県 伊藤 昭二

も「自民党はなぜ拒否するのでしょようね」と首をひねり、「議員の意思を確認して」と好意的な応対でした。他の三議員(自民)の秘書も「検討」を約しました。

はじめて面会に応じた衆議院議員が「忘れがちな問題を再認識した。対応したい」と答えたこと、本日は四一七議員(昨年三三〇)に要請できたことなどの総括集会の報告に運動の更なる前進への決意を新たにしました。

香川県 久保 文彦

二〇〇四年五月十八日、私は高知の玉川さん、愛媛の前田さんの三名で組をくみ、四国の一万一八四二筆の個人署名を持って衆参両院一八名の議員控室を訪問。

議員本人とは、高知県の田村公平さん(参議院自由民主党)と会えただけでしたが、委員会出席直前のため秘書さんが応対、田村さんには、前回紹介議員になってもらっていますので温かく迎えてくれました。また、福井照議員控室では、一人ひとりに室戸の深層水のポットを戴き、激励、されまし

た。どこの控室でも署名の束を快く受けとってくれました。イラク人拷問・虐待事件と治安維持法犠牲者のことを話したら喧嘩腰になった議員秘書もいてびっくり。今後は、地元でしっかり議員工作をすることが大切だということを感じました。

福岡県 橋本 幸夫

国会請願行動には、九州からは福岡県の一〇名をはじめ、大分県三名、長崎・熊本・宮崎・鹿児島

5月8、9日に開催された九州沖縄ブロック女性交流集会は、窓にぬつと桜島が覗いている桜島国民宿舎「レインボー」島にて鹿児島、沖縄、福岡、大分より40名の参加を得て開催されました。

学習会は、鹿児島が生

んだ婦人解放運動の先駆者で同盟の提案者でもある、勝目テルさんの紹介から始まりました。

勝目テルさんは平和婦人新聞の編集を一手に引受け、今の新婦人新聞に発展させた人だそうです。一九三二年日本共産党の

の各県から各一名の一七名が参加しました。このなかでは福岡県の筑後支部理事、太刀洗町議の平山賢治さん(三三歳)や大分県の民青同盟委員長など三〇歳代の青年の初めての参加が特色でした。初参加の人たちの感想は林紀子参議院議員の情勢を適格にとらえた訴えや、犠牲者で山口県から参加した田熊真澄さん(九三歳)、同盟顧問の松崎濱子さん(九一歳)の元気なあいさつに「今こそ先達の遺志をひきついでがんばろう」

指導のもと「米よこせ運動」をはじめ、亡くなられる直前まで女性運動の先頭に立って活動された人です。

生前の勝目テルさんの肖像画

## 九州・沖縄の女性交流集会

を窓辺に飾って学習会は進められました。

講演は、元参議院議員で現在作家活動をされている鹿児島在住の「山中都子」ペンネーム秋元有子さんによる「宮本百合子と治安維持法」というテーマで

という声でした。九州ブロックは五名一組で衆院第一、第二会館と参院会館を訪問しましたが、事前に諫山博会長名で紹介議員依頼の手紙を送っていたので反応はよく、十九日中に五名の議員が紹介議員を受けてくれました。二〇〇五年の国会請願に向けて六月から署名活動にとりくむとともに、自民党・公明党議員にも紹介議員を依頼することの重要性を痛感した国会請願行動でした。

の講話でした。

百合子の生き方は治安維持法との闘いであり、イラク戦争・自衛隊派兵・憲法改悪への流れ等のエネルギーを踏みとどめ

て、歴史を逆戻りさせ、願う人々のみちしるべ

になるのが、宮本百合子の文学と人生が打ち立てた道標(本の題名)であり、時代が百合子を呼んでいるという話に参加者は同様に宮本百合子をもう一度ひもといてみようとおおいに触発されました。(川口伊智子)

顕彰碑

早逝が惜しまれる童話作家

香川県高松市

村山篤子の碑

高松市の西方、浜ノ町公園の屋島、女木島が一望できる海岸に矩形の墓碑がある。

「われは ここに生まれここに遊び ここにおよぎここに眠るなり しづかなる瀬戸内海の ほとりに」

碑文は一九四六年(昭21)八月四日篤子が死の直前に夫の知義に口述したもので、遺言に従って生まれ故郷のこの地に建てられた。村山篤子は一九〇三年(明36)高松市で、岡内千金丹本舗の長女として生まれた。県立高女を経て



自由学園高等科を卒業 雑誌に童話を書いていたうちに、その挿絵を描いていた劇作家で演出家の村山知義と知り合い、一九二四年(大13)に結婚した。

彼女は、知義とその友人から次第に影響を受けて、二九年(昭4)にプロレタリア童話「こおろぎの死」を発表して注目を浴びる。翌年には、数力月のあいだ「少年戦旗」の編集長をつとめ、知義が治安維持法で検挙されると、弾圧にひるむことなく、毎日のように差し入れに通い、手紙を書いた。

戦争中、知義の検挙や東京空襲による疎開などで栄養失調となり、戦後まもなく、知義にみとられながら43歳で亡くなった。「のんきな、犬さん」や「ママのおはなし」などの童話作は、ユーモアと機知にあふれ、モダンリズムの底に庶民的な生活感覚が流れている。「(関英雄)と、いまも評価が高い。」

村山篤子は、「勤労者のために勤労者のなかから勤労者のいのちを描くこと」、生涯を社会進歩とプロレタリア文化運動につくした。(香川県本部事務局長 久保文彦)

七月十一日投票の参議院選挙。議員定数も少しずつ減らされて今回から二四二名、その半数が三ごと改選されます。参議院議員の特徴の一つは解散なしの六年任期制。衆議院は四年任期のうえに、途中解散によって、これまでの戦後議会史では事実上平均三年未満の任期となっています。今回も来秋に、政権与党の自民党の総裁交代が確定しており、首相改選に伴う国会解散・総選挙も予想されています。

時の焦点

衆・参二院制のわが国の議会政治では「衆議院の優越」が建前。条約の批准や法案・予算の審議成立など衆議院に優先権があります。参議院は六年の任期が保証されていて、選良の議員諸公みっちり研鑽の機会を活かし、とかく政争の場に終始しがちの衆議院の単に多数決の数の論理での独善、横暴に走りがちの議会運営をコントロールする、大事な役割があります。参議院は「良識の府」と国民から期待されるゆえんです。

入手した議事録によると、石破防衛庁長官は四月二二日の衆議院

参議院選挙

の「武力攻撃事態等への対処に関する特別委員会」でこう発言しています。あの広島でもあの長崎でも、爆心地近くでありながら落命されずに生き残った方がたくさんおられる。どういう状況であれば核攻撃を万々が一受けても被害が局限できるか、私も同時に考えていかなばならないでしょう。かつて核シエルトの議論もございました。

国民保護法制とは、まさしくそれを眼目とするものだと思います。アメリカの核の傘の下で、東北アジアでの核戦争にも対応できる戦争国家づくりが、臆面もなく語られています。被爆国、平和憲法、非核三原則などの立場からすれば、現職の国務大臣の重大な舌禍事件。国会がまともならばと、悔まれます。

そしていよいよ参議院選挙。国家賠償法をめざす同盟運動にあって、正しい歴史観を共有する支持勢力の議席増は絶対条件。スペイン、インド、韓国などの国政選挙の成果に連帯して、確信をもって選挙勝利に奮闘しましょう。(元)

# 抵抗の群像

## 投獄五回の暴圧にも屈せず 労働者・農民の解放に生涯を捧げた 可児義雄さん

秋田県 近江谷昭二郎



秋田県には、戦前、小作農民たちが建立した「可児義雄顕彰碑」が小坂町細越と森吉町五味堀の二カ所にある。戦後は、可児義雄の大きな墓碑が、五味堀部落の共同墓地に農民たちによって建てられている。

可児義雄は一八九四年(明二七)九月十日、東京市浅草区で生まれている。母は、岐阜県郡上郡相生村那比にある寺の娘、幼少時代に逆境の中で生活し、高等小学校を優秀な成績で卒業、那比小学校の代用教員となった。のち上京し、

秋田県には、戦前、小作農民たちが建立した「可児義雄顕彰碑」が小坂町細越と森吉町五味堀の二カ所にある。戦後は、可児義雄の大きな墓碑が、五味堀部落の共同墓地に農民たちによって建てられている。

可児義雄は一八九四年(明二七)九月十日、東京市浅草区で生まれている。母は、岐阜県郡上郡相生村那比にある寺の娘、幼少時代に逆境の中で生活し、高等小学校を優秀な成績で卒業、那比小学校の代用教員となった。のち上京し、

秋田県に入り、小坂鉦山、花岡鉦山の労働争議の指導にあたった。一四年(大十三)七月、足尾銅山精錬所のストライキを指導し官憲との乱闘となり浅沼稻次郎

らと共に検挙されている。

一九二四年十一月、秋田県小坂鉦山の煙害賠償要求闘争に参加する。小坂町細越を中心に日農小坂支部連合会を組織し細越に争議団本部を設置、鉦山側の暴力団、警官隊と争議団との対峙が繰り返されるが、農民組合と鉦山労働者の共闘に発展させ、賠償を大幅に引上げさせて勝利をかちとっている。

この闘争の指導の中心は可児義雄と青森の大沢久明(戦後、共産党中央委員・青森県委員長)であった。

可児義雄は翌年九月には、秋田県吉野鉦山の争議を指導しているが、同年暮、別子銅山大争議の関連で投獄され一年六カ月服役している。出獄後は、秋田県の小坂地方を中心に農民組合の拡大を図り、農民組合秋田県連の常任書記となり農民運動に専任している。

一九二九年(昭四)二月、全農

秋田県連委員長に選出された可児義雄は、日本三大争議の一つである阿仁前田村小作争議の最高責任者となる。前田村五味堀に争議団本部を設置し、九百余人の小作人を有する大地主庄家との激しい闘いを指導するが、警官隊並びに地主側暴力団と農民が互いに竹

槍、日本刀などで「武装」しての乱闘事件に発展し、県特高課長の指揮による徹底弾圧を受けた。この乱闘事件で二十一名と共に起訴され懲役二年の刑をつけ、三一年(昭六)四月服役、三三年(昭八)四月出獄し、衰弱した身体で農民運動に復帰するが翌年五月、東京中野療養所に入院、再び立ち得ることができず、四十一歳の若さで生涯を閉じたのである。

「可児義雄は精悍な感じの人で、会談でも言葉数が少なく、駆け引きのないきっぱりしたものと言いつつ、立派な闘士であると思った」(三浦雷太郎元共産党中央委員・秋田県委員長)、「その偉大さは、属した政党はともかく、レーニンを信奉し、大衆のなかに没入し、闘争が激しくなれば絶えず一身をかけて先頭に立ち、大衆と共に闘ったことであるまいか。その誠実、信念の強さ、強固な意志は絶えず見とらしをもっていた」(高山貞章「前田争議調査報告書」と伝えられている。可児義雄の戦闘的で、すぐれた人間性が、小坂町と前田村の農民たちにはいまだに忘れられず、深い尊敬の念をもってその遺徳が偲ばれている。

同盟歌壇

碓田のぼる選

埼玉県 寺島清文

戦場にうちすてられし同胞の御骨おさめる千鳥が淵墓所  
何もなき白木の箱で帰りましし叔父の御骨もあるやも知れぬ

評 千鳥が淵墓所での作品が三首よせられてきた。第一首目から  
も明らかのように、かつての戦場に放棄されたままの日本兵の遺骨  
を、收拾した墓所にきて、作者は叔父の死も悼ましく回想している。  
投稿のもう一首目は「百円の白菊一本我も求め無名の犠牲者に頭を  
垂れぬ」であった。三首中、二首目の作にもっとも情感がこもって  
いる。

静岡県 江川佐一

「雨もふらぬに袖ぬらす」と歌われし郡上にて吉田川の水荒く流れる  
美並村の円空さんも郡上市に町村合併となり変わる歴史か

評 これまで、岐阜県郡上郡にあった町村が合併して、郡上八幡  
市が生まれた。そこを訪れた作者の詠歌である。一首目は郡上おど  
りの歌で「郡上八幡出て行く時は」に続く。郡上一揆への思いにつ  
ながっている。二首目の原作下句は「町村合併歴史を変えんか」で  
あった。

千葉県 行木権平

隅田川青葉の下のいしぶみを囲みて歌う「春のうららに」  
戦闘帽ならずベレーに青マフラー日本の「陸軍」イラクへ降りぬ

評 一首目は、文学散歩か何かで歩いた時の一コマであるうか。  
「春のうらら」をきざんだ碑の所で、童心にかえって、その歌をう  
たっている様子が目に浮かんでくる。二首目は原作のままで、ただ  
「陸軍」とカッコに入れてみた。面白い所に視点をすえているが、  
批判が乏しいのが惜しい。



『日本の人権／世界の人権』

横田洋三著

不磨書房 一六〇〇円

人権を人間生活の根源の問題としてとりあげ国際社会の人権に迫る、平易な語り口で思わず一氣に読ませてしまう。  
たとえば「人権を教える時、憲法の人権条項を全部そらんじているからといって人権を大切にしている人とはいきれない」「人権は知識ではなく人間性の問題である」「人権は、誰もがもっている一個の人間としての尊厳をお互いに大切にすることから始まる」と

述べています。  
著者は、東大教授をへて現在中央大学法学部教授、国連大学学長特別顧問、国連人権促進保護小委員会委員、国際労働機関（ILO）条約勧告適用専門家委員会委員など国際的機関にあつて活躍されている国際法学者で、人権教育にも力をいれ、何よりも同盟の国連要請活動にもご尽力されています。  
二〇世紀の人権について、著者は「一国内の人権から国際人権へ国際連盟」へと発展し、さらに第二次大戦後、世界人権宣言、女

性差別撤廃条約、子どもの権利条約、地域的人権条約など貧者、弱者への人権条約に及んでいることを紹介して、「二一世紀は人権の世紀」といわれるが、「二一世紀は人権と平和の世紀にしなければいけない」と強調しています。「極言すれば、人類はこれからの歴史を主体的に作っていくことができる時代に入った」と言い、そして「二一世紀はこれまでの国家中心の国際関係から人間中心の世界観へ」「その中核となる理念は平和と人権」、まさに「日本国憲法前文と一致」としています。  
そのほかにも人権の歴史、人権差別、生活の中の人権など説きながら、最後に、日本が二一世紀の国際社会にふさわしい人権の教育に期待をよせています。  
本書は著者の寄稿や講演をコンパクトに編纂しており、治安維持法犠牲者の人権回復を訴えている私たち同盟会員の人権学習、あるいは憲法学習にも親しみやすいテキストとなるでしょう。  
(信)

# 国連要請とツアーへのお誘い

福岡県本部 川口伊智子

一九九九年国連小委員会で勧告要請を訴える機会に恵まれた夫川口學に同行して、生まれて初めて国連に足を踏み入れました。

私は恥ずかしながら、それまで同盟の存在すら知らず、気軽に同行の旅を楽しもうと物見遊山で出かけたが、国連の現場で見聞する世界の至る所で発生する人権侵害はあまりにもひどく、あまりにも多いのに驚きました。同盟の国内での活動を広め政府を動かす必要性を強く感じたことでした。

去年の晩秋、あるレセプションの会場で、国際部長の斎藤久枝さんと再会しました。その時「また是非一緒に国連に行きましょう」と誘われ「ええ、是非同行させてください」と即答しましたが、私が行くとなると、多くの友人に国連とは？ 人権小委員会とは？そして何よりも同盟の活動の在り方を理解してもらえらるよいチャンスになると考え、まず立ち上げたばかりの同盟福岡女性委員会ツアーに誘いました。女性委員会八名出席の中で県本部から出席され

ていた橋本さんはじめ四名の参加の意思確認が出来ました。

「ねえ、国連に行かない？」私は早速友人に声をかけました。

友人といつても四年前までは、ほとんどが社会運動に関心が薄い人ばかり。そんな中で「国際婦人デー」・イラクの戦争展・福岡の中心地天神町で「平和を守れ・憲法九条を守れ」のピラマキ行動に、積極的にとまではいきませんが参加してくれるようになりました。平和は世界共通の願いです。

そこで今回は国連要請ツアーへの誘いです。友人達は、国会請願署名には何の抵抗もなく協力してくれましたが、私がそうであったようにまだ同盟の活動についての認識や理解はないと思います。「百聞は一見に如かず」です。今、友人の五名が参加を希望していますが、国連行きが友人達にとつて「再び戦争と暗黒政治を許さない」同盟の存在意義を理解する機会となり、多くの知り合いに土産話をしながら期待しているところなのです。

## 事務局日誌

5月1日 中央メーデーに参加、署名活動(斉藤事務局長ほか)

5月7日 中央三役会議

5月8日 小林多喜二と野呂米太郎文学会に参加(浦和)

5月10日 中村洋子都本部理事が中央本部事務アルバイト参加

5月18日 全国から一四一名の同盟代表が三四万二千余の請願署名を四一七名の国会議員に提出し、紹介議員受託を要請、河野衆院議長にも面会要請

5月19日 「不屈」六月号、「治安維持法と現代」編集会議

5月24日 倉田参院議長、野沢法務大臣に面会要請(近藤副会長ほか)

5月25日 同盟中央国際部会

5月26日 都本部三役、同理事会に斉藤事務局長参加

5月31日 「不屈」六月号割付

寄贈図書 『治安維持法犠牲者名簿 新潟県』

### ●治安維持法と現代を結ぶ同盟の総合誌

## 『治安維持法と現代』 2004年春季号 好評発売中



【主な目次】打って出よう！日本国憲法もって(奥平康弘)、「国民保護法」とは国民統制動員法(内藤功)の他、教育基本法論、「つくる会」の動向(依義文)、横浜事件と人権(橋本進)、野呂栄太郎、西田信春、上甲米太郎論、植民地台湾の支配と抵抗。【特集】太平洋戦争 昭和天皇と原爆開発計画、学徒出陣、撫順戦犯管理所、有事法制をとりあげる。「話題を読む」、犠牲者顕彰活動、短歌、俳句など多彩に収録。A 5版156頁、定価1000円、送料270円。

制作・治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟